

## 会議結果の公表

附属機関等の名称	令和6年度 新沖縄県史編集委員会
日時	令和7年2月4日(火) 10:00~12:00
場所	沖縄県公文書館 会議室
参加委員名	赤嶺政信 久万田晋 近藤健一郎 里井洋一 高良倉吉 田名真之 豊見山和行 鳥山淳 波照間永吉 比嘉悦子 前城淳子 前泊博盛 宮城晴美 (五十音順)
議題	<p>1 報告及び計画</p> <p>(1) 令和5年度新沖縄県史編集委員会報告</p> <p>(2) 令和5年度刊行物及び令和元年度刊行物</p> <p>(3) 令和6年度各専門部会・編集協力会議報告</p> <p style="padding-left: 20px;">①刊行計画検討専門部会</p> <p style="padding-left: 20px;">②各論編『言語』専門部会</p> <p style="padding-left: 20px;">③各論編『芸能』専門部会</p> <p style="padding-left: 20px;">④図説編『近現代』専門部会</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤ビジュアル版『沖縄戦』編集協力会議</p> <p>(4) 県史料有償頒布</p> <p>(5) 近代沖縄史料デジタル化事業</p> <p>(6) ベッテルハイム日誌日本語翻訳版刊行</p> <p>(7) 史料調査</p> <p>(8) 広報・教育普及活動</p> <p>2 審議</p> <p>(1) 第4次刊行計画策定スケジュールについて</p> <p>(2) 全体的な刊行計画について</p> <p>(3) 第4次刊行計画で取り扱う題号および冊数について</p>
議事の概要	<p>※会議に先立ち、委員の互選により、会長に宮城晴美氏、副会長に豊見山和行氏が選出された。</p> <p>「1 報告」に対して、以下の質疑と意見が出された。</p> <p>(質疑) ベッテルハイム日誌日本語翻訳版刊行が中断しているのは、人材又は予算の問題か。</p> <p>(回答) 人材の問題。刊行には英語だけでなく、専門的な知識を持った人材が必要なため。</p> <p>(意見) 紀要の文献目録がしばらく掲載されていないので、次号では入れてほしい。</p> <p>「2 審議」の各事項について承認が得られ、以下の質疑と意見が出された。</p> <p>(質疑) 通史を2冊から1冊にした経緯について聞きたい。</p> <p>(回答) 刊行計画検討専門部会での議論の中で、各論編との差別化と読み手の読みやすさを考慮して、沖縄県の通史として1冊にまとめることになった。</p> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで各論編の蓄積があるが、通史は各論編のダイジェスト版ではない。</li> <li>・刊行は先の話だが、通史で独自の世界をどう描くか、今後も議論が必要。</li> </ul> <p>他に以下の意見・要望が出された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文学専門部会を早めに立ち上げて、組織を固めていただきたい。</li> <li>・刊行計画について情報を広く提示すれば、研究者側で準備や学会等での議論が進むのではないか。</li> <li>・次の世代にバトンタッチする、途切れない事業体制が必要。その一環として刊行計画があり、どのように体制整備して持続性を担保していくか大事。</li> <li>・刊行予定のない年は、オーラスヒストリーをまとめた資料編として軽いものを発刊していくのもよいのではないか。</li> </ul>
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
所管課等	沖縄県教育庁文化財課
問い合わせ先	史料編集班 電話：098-888-3939
備考	